



*今月は「アンダーソン・クーパー360°」に代わり、「ファリード・ザカリアGPS」を掲載します

Insecure Security

同盟国との信頼揺るがす

米国防総省の機密情報漏洩 ウクライナ戦争にも影響必至か

今年4月、米国防総省の大量の機密文書が、ソーシャルメディアを介してインターネット上に流出していることが発覚した。ウクライナ支援や同盟国に対するスパイ活動など、国家安全保障に関わる重大な情報が多数含まれていた。米国にとって大きな失態となったこの流出事件は、ウクライナにおける戦局にどの程度影響を与えるものなのか。また、米国の安全保障にとって、どれほどの損害となりうるのか。ファリード・ザカリアが、専門家2人を招いて話を聞いた。



番組ホスト

ファリード・ザカリア

インド出身のジャーナリスト、国際問題評論家。イエール大学卒業後、ハーバード大学で博士号を取得。国際政治経済ジャーナル「フォーリン・アフェアーズ」編集長、ニュース週刊誌「ニューズウィーク」の国際版編集長を経て、2008年6月よりCNNで「Fareed Zakaria GPS」の番組ホストを務める。1964年、ムンバイ生まれ。

ゲスト

デービッド・サンガー

米国のジャーナリストで、「ニューヨーク・タイムズ」のワシントン特派員。'86年のチャレンジャー号爆発事故についての取材で、'87年のピューリッツァー賞を受賞。主な著書に*The Perfect Weapon: War, Sabotage, and Fear in the Cyber Age*（『世界の覇権が一気に変わる サイバー完全兵器』）（2018年）。CNNにも寄稿。1960年、ニューヨーク生まれ。



79 米国防総省でまたもや機密情報漏洩



Fareed Zakaria The trove of classified documents leaked to social media that came to light last week has revealed information that the US and its allies would rather have kept secret—most notably that Ukraine’s air defenses are weak and that Kyiv is in desperate need of munitions.

The paper also says South Korea is worried that artillery shells it sells to America might end up on the Ukrainian battlefield, a breach of that country’s policy not to supply ammunition to countries at war. They reveal that the US may press Israel to provide weapons to Ukraine, which would be a change in Israeli policy as well. And there’s undoubtably information in the leaks that Russia can use against Ukraine.

So, what will the military fallout be? And what effect is all this

insecure: 《タイトル》頼りない、安全性の低い
trove: 貴重なもののコレクション・山、(知識などの)宝庫
classified document: 機密文書
come to light: 明るみになる、露見する
ally: 同盟国、盟邦
notably: 著しく、目立って、特に
air defense: 防空手段、防空技術
Kyiv: キーウ ▶ここではウクライナ政府のこと。
be in desperate need of: ~を心底必要としている、是が非でも必要としている
munitions: 軍需品、武器弾薬
artillery shell: 大砲の砲弾
end up: 最終的に~という状態になる
breach: (法律や協定などの)違反、不履行
supply: ①《supply A to B》AをBに供給する、支給する ②《supplies》供給品、支給物
ammunition: 弾薬、銃弾、砲弾
press...to do: ...に~するよう圧力をかける
undoubtably: 疑問の余地なく、確かに

fallout: 好ましくない結果、悪影響

ファリード・ザカリア 先週明らかに なった、SNSに漏洩した大量の機密文書によって、アメリカとその同盟国ができれば秘密にしておきたかった情報が露わになりました——中でも注目されるのは、ウクライナの防空システムは脆弱で、ウクライナ政府は武器弾薬を是が非でも必要としている、という情報です。

またこの文書には、韓国が、自分たちがアメリカに売っている大砲用の砲弾が、ウクライナの戦場で使われることになるのではないかと危惧していることも書かれています。(実際にそうなれば)それは戦争中の国には砲弾を供給しないという同国の方針に反することになります。(さらに)文書では、アメリカがイスラエルに、ウクライナへの武器提供を促す可能性も示されています。それは、イスラエルにとっても方針転換となります。そして、漏洩した文書には、間違いなく、ロシアがウクライナ攻撃に利用できる内容も含まれています。

では、これらのことは軍事的にどのような影響を及ぼすのでしょうか